

第3回 河内長野市総合計画（第1部会） 議事要旨

日時:令和7年2月14日(金)

午後15時00分から

場所:501会議室

1. 開会

○市事務局あいさつ

2. 議事

(1) 基本構想（案）について（協議）

→資料1・2に基づき基本構想（案）について説明。

<質疑>

中道副部長:事務局の説明を踏まえて、どうしても気になる点などあれば意見をいただきたい。これが部会として検討する最後の機会となるので、少し資料を読み込む時間として5分ほど取るので、その上で順番に意見をいただくこととしたい。

吉竹委員:前よりまとまって良くなっていると思う。資料1で文章として書かれているが、最終的には冊子を作ることになる。第5次は文字が中心だったが、今回は、イラストや写真が入るということで見やすくなると思う。

市事務局:今回のコンセプトは、「市民の皆さんに手に取っていただきたい」ということなので、デザイン・イラストについても現在、検討している。デザインを含めて基本構想を伝えていきたい。

中道副部長:概要版のようなものは作るのか。

市事務局:総合計画のうち、基本構想の部分は冊子にし、基本構想の要素を集めたものをポスターのような形で作りたいと考えている。

玉崎委員:千年都市ということで、これまで培った自然、観光がしっかりと出ている。それだけ続いているということは地盤が強く安心、ということが表現できていると思う。子どもたちの転入が増えて、世帯が増えている、ということがもう少し具体的に表現する必要があるのではないか。なぜ選ばれるのか、基本構想では不要かも知れないが、その辺りもしっかりと考えていただきたい。

市事務局:QAの一番に「ターニングポイント」をもってきた。より深く知りたい、という人向けに、解説を読み込む資料も整備しようと考えている。

前田委員:資料2の4ページ、3つの問いかけの枠組みの話は前回議論するときであれば良かった。そのくくりで見た時に完全にマッチしているのか。コピー自体は違和感はないのだが、整理の仕方を工夫できるところがあるのではないか。

市事務局:完全にきれいに分類できているか、というのはあるが、伝え方、見せ方で工夫

していきたい。

中道副部長：その部分が分かりやすくないと、分かりにくくなる。ストーリーも伝わらないと思うので、ひとが真ん中であって、くらし、まちがある、ということで、伝わりやすくなるよう、入れ替えを含めて考えていただきたい。

峰委員：安全・安心という言葉は使われやすいが、違う意味で何回も出てくると、違うメッセージに伝わってしまうのではないか。当たり前のことと、当たり前以上のこととの差が分かりにくくなるのではないか。

中道副部長：安全と安心がいっしょくたになっているということか。

市事務局：7 ページ（1－3）はどちらかというと行政がしっかりと取り組んでいく安全・安心、8 ページ（1－4）は市民全体で地域活動等を作っていく安全・安心、そういう違いはある。

中道副部長：今の説明で分かったが、説明がないと伝わらない、ということだと思う。表現をぜひ工夫していただきたい。

島田委員：全体的にだいぶん分かりやすくなったと思う。14 ページ（2－4）、学校の中でも外でも学ぶ、公民館や色々な場所で講義や体験をしていただく、そういうことをしっかりとやっていただきたい。その次の2－6、河内長野は空家が少ない方とは聞いているが、私の周りで増えている。それをどうしたら良いか、ということもしっかりと考えていただきたい。今の時点でどう表現したらよいかは分からないが。

市事務局：基本計画の中でしっかりと検討していきたい。

中道副部長：解説でもう少し詳しいことが伝わればと思う。

梅崎委員：よく考えられて分かりやすい感じでまとまっていると思う。特にここを修正してほしい、というところは出てこない。

山田委員：良くまとまっていると思う。10 ページ、免許返納しても自分の行きたいところに出かけられる、というのはありがたい話。決済もスマホでできるようになる。老人会のメンバーでスマホを使っているのは2割、1割は関心なし、残りはどう使って良いか分からない。70代・80代でも5割はスマホを持っている、その辺りを考えていただきたい。

市事務局：具体的な取組は基本計画の中でしっかりと検討していきたい

河村委員：事前にいただいたので、事前情報がない人に読んでもらったところ「何となくいい感じ」だとは思いますが、これが素晴らしい、というところはなかった」という話だった。もう少し具体的にイメージできる何かが欲しい。例えば20 ページ、「日本一の給食カレー」どうすれば日本一になれるか？学校給食甲子園というのがある。そこに新しい給食センターができればチャレンジしてみるとか、そういうのがあれば具体的にイメージできるのではないか。岡山県の笠岡市では2018年の集中豪雨の時に、新設された給食センターが炊き出しで活躍した。そういう

のも盛り込んでいくと具体的なことにつながるのではないか。

中道副部長：カレーが入るとカレーだけになるのでは、と私は思うが。

市事務局：読んでもらうために文字数を減らした。イメージが伝わりにくいところはイラスト・デザイン・データなので補っていききたい。安全・安心につながる要素も紐づけしていききたい。

浦山委員：お気に入りのキャッチも残っていて嬉しい。「カレー」のところは、私は斬新で良いと思う。「千年」は河内長野を表す重要なキーワードだと思う。「好き」が集まればすごい力に はとても気に入っている。「踏み出し放題」がネガティブにちょっと感じてしまう。表現の意図は分かるのだが、「放題」というよりみんなが応援する、ということが伝われば。3-2、「サクセスフルなサステナブル」がどう伝わるか、市民がまちの清掃やごみ拾いで頑張っていることが伝わる形にならないか、というのが個人的な意見。

市事務局：：参考にする。

中道副部長：私はこの表現は推したいですが、もう少し悩んでいただくこととしよう。

市事務局：「サクセスフルなサステナブル」はキャッチーなところを狙った。大事なものを残していくという観点でこうしたが、ご意見多いところなので、もう少し検討したい。

浦山委員：イラストも入れられるそうなので、今後に期待する。

中道副部長：分かっている人にしか伝わらないのでは。

市事務局：「持続可能」は環境だけでなく、道路などの社会インフラや自治会などの地域コミュニティも含まれる。それを成功裡にやろうということで「サクセスフル」という表現をつかってみた。説明の中にもう少し直接的に説明する部分が必要かもしれない。

中道副部長：ぜひ工夫をよろしく。

峰委員：もう少し行政が頑張っている、ということが伝わっても良いのでは。

市事務局：なかなか自分たちからは……。ただ、「好きな時に好きなところへ」は「そんなことできるわけない」という意見が庁内からも出がちだが、難しいことにチャレンジしようとしている、前向き、積極性などをそこで表現しているつもり。サクセスフルなサステナブルもどこまでできるか未知数だが、行政が持続可能が困難になっている事案に立ち向かうんだ、という姿勢が表現できればと思う。これを掲げるか掲げないかで行政としての行動が変わってくると考えている。多少、違和感や引っ掛かりがないと目を引かない、ということもある。

中道副部長：練りに練っている中で周りが見えなくなる恐れもあるので、最後はクールに冷静にまとめていただきたい。

前田委員：10 年後にこんな暮らしをしている、という流れ・見せ方にするかで感じ方・受け止め方が変わると思う。

中道副府会長：ストーリーが一貫していないと、伝わりにくい。分かりやすさのカギはストーリーにあると思う。

浦山委員：ひと・まち・くらしの流れが伝わるように。

峰委員：課題からではなくワクワクする姿から、ということから入ったので、「日本一」や「好きなときに好きなところへ」みたいな表現は出てこなかったと思う。

河村委員：私が資料を見せた第三者の方は、行政の熱意は感じ取ってもらえたようだ。

中道副部会長：その辺りくみ取っていただいて、とりまとめをご検討ください。

3. 事務連絡

→市事務局より、事務連絡について説明

4. 閉会